



平成 26 年 12 月 24 日  
ペプチドリーム株式会社  
<http://www.peptidream.com/>  
(証券コード：4587 東証マザーズ)

## 米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社による 当社創薬開発プラットフォームシステム：PDPS 運用開始のお知らせ

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：窪田規一、本社：東京都目黒区、東証マザーズ）は、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社（以下「BMS 社」といいます。）に対して平成 25 年 9 月に合意した独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS（Peptide Discovery Platform System）の非独占的ライセンス許諾契約（技術貸与。以下「本契約」といいます。）において、（1）BMS 社への技術移転がすべて順調に終了し、（2）BMS 社内において特殊ペプチドの創製がすでに始まっておりますので、お知らせいたします。

本契約において、当社は、年間テクノロジー・アクセス料を受領するほか、いくつかの段階に分けて設定していた契約一時金、並びに、PDPS により創製された各化合物について、その研究開発の進捗に応じてあらかじめ設定しているマイルストーンフィー、及び、当該化合物が上市に至ったときは当該医薬品の売上高に応じたロイヤルティを受け取ることになります。

本契約とは別に現在両社で取り組みを進めている共同研究開発契約は継続され、引き続きリードペプチドの獲得、マイルストーンの達成、さらに臨床試験入りに向けて研究開発を進めてまいります。

なお、PDPS の運用開始により、当社は設定していた契約一時金を受領（売上高に計上）しますが、その金額については、当期業績予想に織り込み済みであり、また、BMS 社との契約及び当社の今後の営業政策における他の製薬企業との関係から非開示とさせていただきます。

### 【ペプチドリーム株式会社常務取締役リード・パトリック及び COO 舛屋圭一のコメント】

「技術移転が滞りなく終了し、BMS 社内において PDPS が運用され始めたことを大変喜ばしく思っております。これにより BMS 社の創薬研究開発及び新薬創生が一層加速されることが期待されます。」

**【ペプチドリーム株式会社について】**

ペプチドリーム株式会社は、「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という現社長窪田と現社外取締役菅（東京大学大学院教授）の共通の夢から、平成 18 年 7 月に設立されました。独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS (Peptide Discovery Platform System) を用いて、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数（数兆種類）合成し、高速な評価を可能にすることで、創薬において重要なヒット化合物の創製、リード化合物の選択並びにファマコフォアの理解を極めて簡便に、かつ、効率的に行えるようにしました。ペプチドリーム株式会社は、特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。

**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

ペプチドリーム株式会社 経営管理部 関根  
TEL：03-3485-7707